


markscanに読む前に、画像を二値化する

- markscanでは「しきい値」のスライダーで、グレースケール画像を白黒画像に切り分ける、しきい値を設定します。しかし、設定がうまくいっているのかわかりません。
- このソフトでは、しきい値にたいする二値化の様子をリアルタイムで見ながら画像を二値化していくことができます。
- 二値化するファイルは、複数選択可能です、ファイル選択の画面で複数選択してください。変換先の画像ファイルは、ソフトと同じ場所に保存されます。

使用中の画面

使い方

- [リリースのページ](#)から最新版の**markscan_bw.exe**をダウンロードしてください。
 - bwは、ブラックホワイトのつもりです...
- **ファイルを選択**から、マークシート画像を選択してください。複数選択も可能です。
- 右端の印がしっかりと見えるようなしきい値を、スライダーで設定してください。
- 保存ボタンを押すと、フォルダと同じ場所に**bw**というフォルダが作成され、その中に画像が作成されます。
- あとは使用しやすい場所にbwフォルダを移動してから、markscanで読み取ってください。しきい値は、150くらいでよいはず。

参考にしたサイト

- [Python tkinter / リアルタイム2値化アプリを作ってみた](#)
 - こちらのサイトで紹介されているスクリプトを、日本語対応・複数ファイル対応させて、pyinstallerでexe化しました。
- [Python OpenCV で日本語を含むパス及びファイルが読み取れない問題](#)

[TOPへ戻る](#)